

科目名	保育表現指導				
担当者氏名	笠川 武史、加藤 達雄、丸井 理恵				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	4年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

子どもや子どもを囲む環境が大きく変わり、遊び・身体を動かす活動が少なくなってきた。保育者は、子どもの遊びを豊かに展開するための実践的な知識と技術を身に付けておく必要がある。これまで学修した内容や子どもの発達について理解を深めつつ、園で行なわれる春・夏の行事を題材に「音・動き・造形」に関わる表現活動に関する知識と技術の習得、行事の計画・企画、子どもへの支援及び日々の活動づくりを学ぶ。

《授業の到達目標》

保育現場の「音・動き・造形」を複合した表現活動に関する知識と技術の習得し、行事の計画・企画をできるようになる。

《成績評価の方法》

評価は、平常点 20%、授業中課題・提出物 40%、課題発表 40%等によって総合的に評価する。

《テキスト》

授業内で適時、資料を配布する。

《参考図書》

授業時間中に必要に応じて紹介する。

《授業時間外学習》

予習は、前授業で予告するので、その内容について構想・活動計画をまとめること。復習は、各自で授業内容をまとめ、個人の指導法・内容の一つにすること。課題が提示された場合は、期日を守り、提出すること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	春の表現活動	ガイダンス（授業の概要・注意事項の説明）、春の行事、からだを使った春の表現活動について
2	春の表現活動	音を使った春の表現活動
3	春の表現活動	春の造形活動
4	春の表現活動	春の行事・レクリエーションの発表の計画・準備
5	春の表現活動	春の行事・レクリエーションの発表
6	夏の表現活動	夏の行事について、からだを使った夏の表現活動の基礎
7	夏の表現活動	からだを使った夏の表現活動の応用
8	夏の表現活動	音を使った夏の表現活動の基礎
9	夏の表現活動	音を使った夏の表現活動の応用
10	夏の表現活動	夏の造形活動の基礎
11	夏の表現活動	夏の造形活動の応用
12	夏の表現活動	保育見学
13	夏の表現活動	夏の行事・レクリエーションの発表の計画・準備
14	夏の表現活動	夏の行事・レクリエーションの発表の準備・予行演習
15	夏の表現活動	夏の行事の発表、学習のまとめ